

社会資本総合整備計画 事業評価シート

計画の名称	1 安全で安心な福島市の都市公園づくり (防災・安全)														
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)					交付対象	福島市								
計画の目標	福島市東部地区の避難圏人口を2㎡/人以上達成するため、福島市地域防災計画に位置付けられた都市公園の整備を実施し災害時の避難場所及び防災拠点を確保するものである。 また、既存施設を「誰もが安全で安心して利用する事できる施設」にするため、インフラ再構築を図るものである。														
計画の成果目標 (定量的指標)	①東部地区1人当たりの避難面積1.31㎡/人(H22)から5.34㎡/人(H26)に増加 ②都市公園改修遊具数212/678(H22)=31.3%から357/678(H26)=52.7%に増加														
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			実績値								
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	(H26年度)								
①東部地区の避難圏内人口 (歩行距離2km以内) の一人当たり避難地の面積 一人当たりの避難面積 (㎡/人) = (都市公園+避難場所) / 東部地区人口 (人)				1.31㎡/人	5.12㎡/人	5.34㎡/人	6.26㎡/人								
②福島市の都市公園(H21)187のうち遊具がある132公園の遊具点検を「遊具の安全に関する基準JPPA-S:2008」に基づき遊具の危険度を算出する。 遊具の危険度数 (%) = 危険な遊具数/全体の遊具数				31.3%	38.6%	52.7%	31.3%								
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,427百万円	A	1,370百万円	B	27百万円	C	30百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.1%					
事業効果の発現状況	・福島市東部地区の避難圏人口一人当たり避難地の面積が、宮畑遺跡史跡公園の整備が完了したこと及び、東部地区の人口が減少したことにより6.26m2に増加した。 ・長寿命化計画の策定により、ライフサイクルコストの縮減に繋がる、補修・改築を行うべき公園施設が明確となった。 ・宮畑遺跡史跡公園のアクセス道路である市道古川・宮畑線の道路改良により、利用者の安全・安心が確保できたとともに、公園の利便性が向上した。														
今後の方針	今回は東日本大震災の復旧事業の影響や、長寿命化計画の見直しにより、都市公園遊具の改修を進めることが出来なかった。今後は、長寿命化計画の見直しを適宜行いながら長寿命化計画に沿う公園施設の種類に応じた日常点検・定期点検を行う。また、公園利用者の安全と利便性を確保と適切な維持管理に努めると共に、予算執行の平準化を図りながら計画的な補修・改修及び更新を実施し、施設の延命化によるライフサイクルコストの縮減に努める。														
社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	公園	一般	福島市	直接	福島市	都市公園事業 (宮畑遺跡史跡公園)	施設整備・用地取得A= 5.6ha	福島市						1,025	
1-A2-1	公園	一般	福島市	直接	福島市	福島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設改修(信夫ヶ丘総合運動公園)、施設更新(十六沼公園ほか9公園)	福島市						339	
1-A3-1	公園	一般	福島市	直接	福島市	公園施設長寿命化計画策定調査	計画策定	福島市						6	
合計														1,370	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-B-1	道路	一般	福島市	直接	福島市	市道古川・宮畑線道路改良	道路改良 L=200m	福島市						27	
合計														27	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-B-1	道路改良により公園利用者等の安全性の向上を図り、快適で安全で安心して利用できる公園整備を支援する。														
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-2	施設整備	一般	福島市	直接	福島市	じょーもびあ宮畑案内サイン整備事業	歩行者誘導板、施設案内看板整備	福島市						30	
合計														30	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-C-2	公園事業 (1-A1-1) と一体的に整備することで、「歴史的資源の情報・避難者の誘導」をするための施設整備を図ります。														

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 安全で安心な福島市の都市公園づくり (防災・安全)		交付対象	福島市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			

